

アーティストの起業は可能か？ エコシステム拡張可能性調査

研究メンバー
染織・工芸課
文化スポーツ総務課
オムニリンクス

研究概要

**デジタルコミュニティを
アート人材が創造し
新しい文化の形を創造する**

なぜアートとデジタルコミュニティ？

アート、現在の課題…

	課題	補足事項
① 人材活用	経済界からも注目されているのに、活用されていない	文化芸術基本法 美大から人材輩出
② 活動継続	制作費が多大であるのに、所有されにくいコンセプト チュアルな作品	ARTISTS' FAIR KYOTO Art Clabolatyon Kyoto
③ 文化の享受	京都府内、展示会場までの物理的距離	

Web 3.0 – DAO (分散型自律組織)

アートの課題と重なると？

人材の課題

1

新しい仕事

制作継続の課題

2

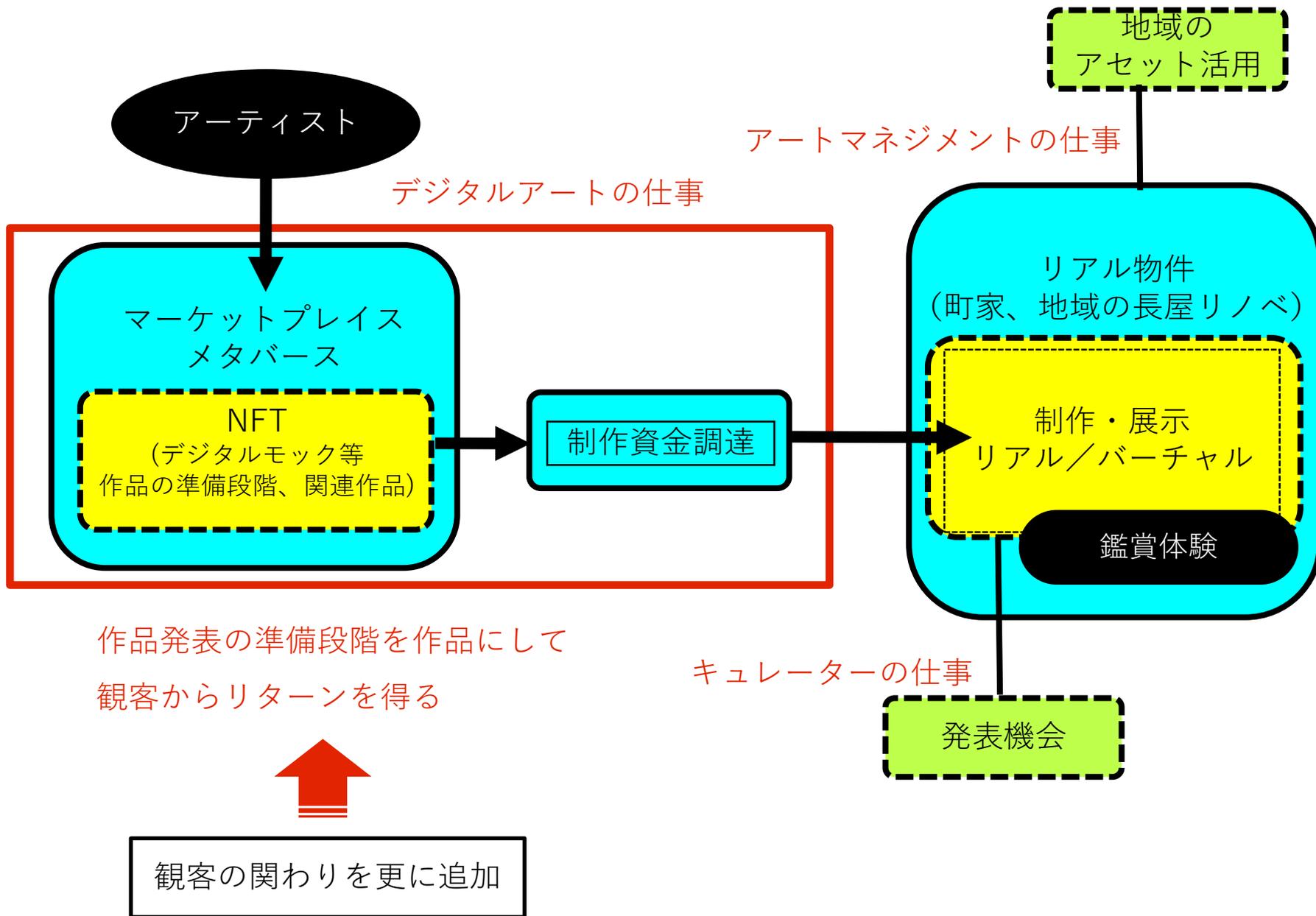
観客の関わり方

享受の問題

3

居所を問わない





なぜ今回の提案が可能になったか？

- ①産業界からの「アーティスト活躍の場の広がり」への期待
経済同友会提言 R3年5月
「アート産業活性化に向けたエコシステムの構築」

- ②経済活動のデジタル空間への移行への期待感は京都にも
京都新聞 R3年12月
「来年はメタ（メタバース）元年 トーセ会長兼CEO齋藤茂氏」

- ③地域のために役立てる物件活用を模索する外国人SUの存在

解決策を実現した先にある世界は？

NFT、デジタル経済は
アーティスト、アート人材と産業界の新しい接点

**アーティストがNFTコンテンツで
リターンを得て次の文化を創造する**



- ✓ アーティストがデジタル経済で稼ぐ道をつくり、文化創造のサイクル継続可能に
- ✓ 京都からの新しい提案で、Society 5.0においても地域のリアルな文化資産が守り育てられる
- ✓ アーティストのデジタル経済での活躍が京都のエコシステム拡張に貢献

文化も経済も活性化する社会